

月 日 名前 _____

／100点

次の問題に答えましょう。(各10点)

1 23を5でわったときのあまりを求めましょう。

答え

2 100を7でわったときの商とあまりを求めましょう。

答え

3 3でわっても4でわっても1あまる整数のうち、1をのぞいていちばん小さい数を求めましょう。

答え

4 5でわると2あまる2けたの整数のうち、いちばん小さい数を求めましょう。

答え

5 4でわっても6でわっても2あまる50以下の整数のうち、いちばん大きい数を求めましょう。

答え

6 3でわると2あまり、4でわると3あまる整数のうち、いちばん小さい数を求めましょう。

答え

7 3の倍数かどうかは、どのように見分けますか。

答え

8 2の倍数かどうかは、どのように見分けますか。

答え

9 1から50までの整数のうち、6でわると1あまる数は何個ありますか。

答え

10 今日は月曜日です。30日後は何曜日ですか。

答え

1 答え：3

$23 = 5 \times 4 + 3$ 。

2 答え：14あまり2

$7 \times 14 = 98$ 、 $100 - 98 = 2$ 。

3 答え：13

3と4の最小公倍数12に1をたす。

4 答え：12

$5 \times 2 + 2 = 12$ 。

5 答え：50

最小公倍数12の倍数に2をたす。 $12 \times 4 + 2 = 50$ 。

6 答え：11

どちらも1足りない。 $12 - 1 = 11$ 。

7 答え：各位の数の和が3の倍数なら3の倍数

8 答え：一の位が偶数（0・2・4・6・8）なら2の倍数

9 答え：9個

1、7、13、…、49。 $(49 - 1) \div 6 + 1 = 9$ 個。

10 答え：水曜日

$30 \div 7 = 4$ あまり2。月曜日から2つ進む。

要点まとめ

- ・ 「5でわると2あまる数」は、「5の倍数+2」の数です。
- ・ あまりが同じときは「最小公倍数の倍数+あまり」。
- ・ 「わる数-あまり」が同じなら、「最小公倍数の倍数-不足」。

解法ポイント

- ・ わる数 $\times$ 商+あまり=わられる数。
- ・ あまりが同じときは、公倍数にあまりをたす。
- ・ 不足が同じときは、公倍数から不足をひく。